

ロボット開発に合意

櫻式號を生産・販売

重工業と千葉工大で 原子力対応の新型投入へ

三菱重工は九月二十五日、千葉工業大学と共同で、原子力分野向けロボットを開発・生産していくことで合意し、技術協力協定を締結した。その第一弾として、三菱重工は千葉工大が独自に開発した新型ロボット「櫻式號(サクラニコウ)」の技術提供を受け、同ロボットを生産・販売する計画だ。櫻式號は、千葉工大の原子力対応ロボット「クインス」(Quince)の知見をベースに開発した、原子力発電所などの過酷な環境下で作業可能なロボット。自重四十七・五kgと六十kgまでの重量物を搭載して毎時一・五kmで走行し、傾斜四十五度の階段の昇降を行うことができるのが特徴だ。本体の除染を考慮した防塵・防水構造となっている。また、オプションのロボットアームに広角カメラを取り付けることで高所や狭い空間での情報収集が可能となるほか、ガレキ撤去やサンプル収集などの軽作業を行える。

粒子線がん治療装置を受注

三菱電機 岡山、大阪と相次ぎ初導入へ

三菱電機は九月九日、兵庫県赤穂市の医療法人伯鳳会から、がん治療に使用される新型粒子線治療装置(陽子タイプ)を受注したと発表した。岡山県津山市の財団法人津山慈風会津山中央病院から、新型粒子線治療装置(陽子タイプ)を受注したことを発表しており、相次ぐ受注となった。岡山県津山市の財団法人津山慈風会津山中央病院から、新型粒子線治療装置(陽子タイプ)を受注した。大阪府内に粒子線治療装置が導入されるのは初めて。

山形の拠点病院への導入によって、初めて中国四国地方に粒子線治療装置が導入されることとなる。二〇一六年三月に開設予定で津山中央病院内に設置する「岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター」に導入される。今回の受注により、粒子線治療装置について国内では十施設が同社製の装置を導入することになる。

群馬県が先に申請していた特区について政府は九月十三日、地域活性化総合特区の認定を行った。群馬県が今年四月に申請していた「群馬がん治療技術地域活性化総合特区」の指定を認定したもので、群馬県は今後世界最先端の重粒子線治療を中心とした、がん医療の研究開発や人材育成を目指す。群馬大学は、放射線医学総合研究所で研究開発されてきた重粒子線がん治療装置を全国に先駆けて整備し、大学病院に「群馬大学重粒子線医学研究センター」を開設して、地域普及展開のモデルとして、治療実績を積み重ね、人材育成等にも役割を果たしている。

汚染土壌の浄化システムを開発 安藤ハザマなど

安藤ハザマは九月二十日、JNC、ネオスト、除染工事で発生する放射性セシウムによる汚染土壌を浄化し、汚染土壌の量を大幅に減少させる浄化システムを共同開発したと発表した。

これまでの汚染土壌の洗浄浄化技術は、主に粗粒分(粒径〇・〇七五m以上)を浄化するもの。細粒分(粒径〇・〇七五m未満)の浄化は高度な技術を要するとしても多くの費用がかかるため、実用化が困難とされてきた。そこで各社の持つ技術を組み合わせたことにより、粗粒分だけでなく細粒分も浄化することのできる浄化システムを開発した。共同開発されたシステムは磨砕洗浄(米を研ぐように、土粒子を相互に接触させて擦りみする)ことで土粒子の表面に付着したセシウムを削り取る洗浄方法。なので、さまざまな濃度の汚染土壌の浄化・減容化に対応することができるとい

第3種放射線取扱主任者講習

受講者募集

本講習を受講することにより取得できる第3種放射線取扱主任者免状は、R1・放射線取扱の基礎的な知識を習得している事を証明する国家資格として有効です。

- 対象者：18歳以上の第3種放射線取扱主任者免状の資格を取得しようとする方
- 受講料：94,500円(食費・旅費・宿泊費は含みません。)
- 申込方法：当協会ホームページより申込書類をダウンロードし、必要事項をご記入いただき〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4 一般財団法人放射線利用振興協会事務局「第3種放射線取扱主任者講習受付係」宛に郵送して下さい。
- 開催場所：新潟県新潟市(11/12~13)、石川県金沢市(11/18~19)、福井県福井市(11/21~22) 宮城県仙台市(11/27~28) いずれも2日間 ※内容や会場等の詳細はホームページ(http://www.rada.or.jp/)をご覧ください。
- 随時講習会：ご希望の日(休日可)に当協会の東海事業所で受講できます。
- 出前講習会：上記以外にも、企業や団体向けに参加者数名程度からご希望の場所や期日で出前講習会を開催します。休日でも実施致しますのでご相談下さい。

お問い合わせ 一般財団法人放射線利用振興協会 東海事業所 原子力研修部
TEL: 029-229-0846 FAX: 029-229-0437 E-mail: dai3@rada.or.jp



Special Interview 田中 伸男氏

元IEA事務局長 日本エネルギー経済研究所 特別顧問

「夢を心に目を外に」 大学生のとき、アイセック(AIESEC)という大学生が運営する国際機関の委員長をつとめ、海外企業への研修生の派遣・受入れに携わった。国内外に多くの友人を得て、貴重な経験を積んだことが国際舞台で活躍する出発点になった。

「多岐な経験を踏まえ 後進育成に熱意」 豊富な経験踏まえ、後進育成に熱意。シエールガス革命は同国の産業競争力を高め、日本にも福音になる。中直近も、日本のエネルギー安全確保をめぐる不穏なニュースは絶えずあり、さらに原子力、再生可能エネルギーの開発に余念がない。欧州では天然ガスと北アフリカから入れるなど供給多様化を「中東をめぐる問題は非

「あなたには日本人ではない」と、よく外国の友人から言われるという。それは日本を客観的に見ることができるといふ意味だ。解しあつちこちで思い切ったことを言っていますよ」と笑う。 海外の友人と付き合うことで深まる経験、何より人生を面白くする。 そんな原点を伝えたいと考えて一冊の本にまとめたのが、近刊『油断への警鐘』(エネルギーフォーラム刊)だ。

「若い世代が心配だ。本邦の若い世代が心配だ。」「若い人たちはあまり外国に行きたがらないとか内向きと、海外の友人からよく言われるが、日本は資源が少ないし、少子高齢化が進む。日本が国際的に尊敬を得て存在感をもち続けるには、外に出ていくしかない。」

「若い世代にできるだけの機会を与え、トレーニングすることが大事だ。言葉のハンディだけではない。学識や経験などいろいろなことを手助けしていく必要がある。」

「油断は大敵」 それにしても原油の大半を依存する中東情勢は、博士課程を取得するなど資格要件のハードル

「油断は大敵」 それにしても原油の大半を依存する中東情勢は、博士課程を取得するなど資格要件のハードル

「油断は大敵」 それにしても原油の大半を依存する中東情勢は、博士課程を取得するなど資格要件のハードル

「油断は大敵」 それにしても原油の大半を依存する中東情勢は、博士課程を取得するなど資格要件のハードル

「油断は大敵」 それにしても原油の大半を依存する中東情勢は、博士課程を取得するなど資格要件のハードル

原産新聞の記事検索

http://www.jaif.or.jp/

無料

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、1999年11月からの記事データベースから即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2006年度からさかのぼって1955年9月25日の創刊号までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

□対象：原産会員、原産新聞購読者
ご利用にはユーザー名(ID)、パスワードが必要です。
電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返送します。

□お申込み：information@jaif.or.jp
□お問合せ：一般社団法人 日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103)

【著作権】一般社団法人 日本原子力産業協会